

子規と漱石

—クィア—な友情、
俳句のホントロジー
キース・ヴィンセント

クィア・リーディング研究会第1回ワークショップ

6/23(木)18:00~ 敬学 243 教室

本年度から3年間、文科省科学研究費基盤研究(C)の採択を得て、「クィア理論と日本文学—クィアリーディングの可能性と実践」という研究課題が出発しました。クィア・リーディング研究会という呼び名で活動をしていきたいと思ひます。

社会学やジェンダー学、あるいは政治行動理論として認知されている日本でのクィア理論理解を、具体的な日本文学の中から探ろうとするのが、本研究会の主たる目的です。ここでもっとも私たちが集中したいのは「クィア・リーディング」(クィア的な読みの実践)です。これまでのジェンダー分別の既成概念にとらわれない新しい読解の可能性を開き、日本文学研究の可能性について考えていきたいと念じています。

第一回はアメリカから、該領域の代表的な研究者であるキース・ヴィンセント氏を招き、話題提供のあと、木村朗子氏、依田富子氏のお二人のディスカッサントによるコメント、そして参加者との討議によって、クィア理論が拓く読みの地平を考えていきたいと思ひます。多くのご参加を期待いたします。

講演: **キース・ヴィンセント氏** J. Keith Vincent (ボストン大学准教授)

日本近代文学、比較文学、クィア・セオリー。

Two-Timing Modernity: Homosocial Narrative in Modern Japanese Fiction, Harvard Asia Center, Fall 2012 など

ディスカッサント: **木村朗子氏** (津田塾大学)、**依田富子氏** (ハーバード大学)

Shiki and Soseki:

A Queer Friendship, A Haiku Hauntology